

本市小中連携取組の現状

1 現在までの取組

小中学校の円滑な接続に関する研究を行うため、研究指定校等において以下の内容を一部の学校で実施

一部の教科において、小学校での中学校教員による授業実践（TTを含む）

小中学校相互の授業参観による小中の指導方法等共通理解

小中連携による継続的で一貫性ある児童生徒指導

2 平成18年度実施の取組の概要

小・中学校	取組の内容等
<p>確かな学力育成のための実践研究事業</p> <p>西原小学校 一条中学校</p>	<p>基礎基本の定着と学習意欲を育てる指導の工夫</p> <p>・国語、算数・数学について小中学校が連携して指導体制や指導方法を工夫することで、基礎的・基本的な内容の一層の定着や学習意欲の向上を図る。</p>
<p>体験活動ジョイントプログラム</p> <p>城山中学校 城山中央小学校 城山東小学校</p>	<p>小中連携で取り組む「豊かな心を育てる地域交流活動」の推進</p> <p>・各小・中学校が既に取り組んだ地域交流活動のねらいや活動内容を整理・検討し、小中学校9年間を見通して系統的に教育課程に位置付け実践することで、豊かな人間性や社会性の育成を図る。</p>
<p>教科担任制</p> <p>泉が丘小学校 泉が丘中学校</p>	<p>一人一人の個性の伸長を目指した教科担任制の在り方</p> <p>・児童の基礎学力や意欲の向上を目指し、音楽において中学校教員による専門性を生かした授業実践を行うことで、個性の伸長を図る。</p>
<p>教科担任制</p> <p>清原中央小学校 清原中学校</p>	<p>自ら学ぶ力を育て、子どものよさを生かす指導の工夫</p> <p>・算数・数学において、TTや少人数授業を取り入れた小中の学習の系統性を踏まえた指導の工夫についての研究を進めることで、個性の伸長を図る。</p>

